

～ football life ～

真夏の強化期間②

『都立対抗戦で試合三昧！』

真夏の強化期間の第二弾として、都立対抗戦（日文カップ）に参加してきました。同じ都立高校のライバルかつ仲間たちと競い合える環境であり、非常に刺激的な大会でした。進学校の国分寺高校や国立高校などはこの暑い夏でも、3年生全員で勉強とサッカーの両立をさせているようです。石神井高校や片倉高校は、部員の挨拶が丁寧で、グラウンド・ベンチの準備などもテキパキ行っていました。他の学校から、サッカーだけでなく、勉強に臨む姿勢・規律などのオフザピッチについても学んで欲しいと思います。また、このようにサッカーに打ち込める環境があることに感謝しましょう。

鷺宮高校は、Aチーム、Bチームに分けて、合計5～6試合行いました。体調不良者やけが人もおり、少ない人数で試合していたため、かなりハードな状況でしたが1試合ずつ懸命に戦い抜きました。A・Bともに、1・2年生中心で戦っており、力不足を痛感しています。Aチームの国立戦や福生戦では残り10分までリードを奪っているものの、最後にゴールを奪われてしまっています。選手権にかけている3年生がいるチームに比べて、技術・フィジカルだけでなく、精神面に差があると感じます。一方で、カウンターの鋭さ、守備の粘り強さなど成長が見られる場面もあります。この夏、上級生に揉まれることで、来年の夏でのアドバンテージになります。夏休み後半もトレーニングに必死に取り組み、成長していきましょう！

